

令和7年度 第3回久留米市環境審議会議事録

1. 日時

令和8年1月21日(水) 14時00分開会 15時00分閉会

2. 会場

久留米市本庁舎20階 第三委員会室

3. 出席者

副会長	吉永 美佐子	高齢者快適生活づくり研究会 代表
	本松 賢治	久留米工業大学 建築・設備工学科 准教授
	井手 悠一郎	聖マリア学院大学 看護学部 教授
	前田 望美	久留米市農業協同組合 総務企画部総務課課長代理
	高橋 和子	くるめクリーンパートナー 代表
	稲益 英孝	久留米市校区まちづくり連絡協議会 幹事
	江上 昭子	久留米市女性の会連絡協議会 会長
	堤 裕嗣	福岡県北筑後保健福祉環境事務所 環境長

事務局	橋本 広昭	環境部長
	池田 剛	環境部環境政策課長
	中野 雅朗	環境部廃棄物指導課長
	角 洋一郎	環境部環境保全課長
	植田 啓介	環境部資源循環推進課長
	津川 雅子	環境部資源循環推進課主幹
	原野 喜敏	環境部建設課長
	井上 和憲	環境部施設課長
	池田 孝博	環境部補佐
	皆 協助	環境部環境政策課課長補佐
	松田 知	環境部環境保全課主査
	濱岡 純子	環境部資源循環推進課主査
	原田 知典	環境部総務主査
	中原 由里子	環境部環境政策課主査
	真島 花南代	環境部環境政策課主任主事

4. 欠席者

島岡 隆行	一般財団法人 九州環境管理協会 理事長 (九州大学 名誉教授)
-------	------------------------------------

石竹 達也	久留米大学 医学部 教授
中嶋 裕之	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教授
野田 豊國	久留米商工会議所 常議員
鐘ヶ江 一枝	久留米市地区環境衛生連合会 常任理事

5. 次第

1 開会

2 議事

(1) 第四次久留米市環境基本計画(原案)について

3 閉会

6. 提出資料等

別紙のとおり

7. 会議内容

別紙のとおり

1 開会

事務局から、環境審議会規則に定める開催定数を満たしている旨の報告。

島岡会長欠席のため久留米市環境審議会規則第5条4項の規定に基づき、吉永副会長が会長を代理し、審議会の進行を務める旨報告。

2 議事

- (1) 第四次久留米市環境基本計画(原案)について
(皆環境政策課課長補佐説明)

本松委員：

読みやすさ、表現など工夫されていますが、26ページのように、画像が載せられていると若い方の理解も深まるのではないのでしょうか。また、冒頭に国の状況などが書かれてはいますが、成果指標の目標値などについて、国との比較や、他市の実態などと合わせて記載をされるとよいのではないのでしょうか。

皆課長補佐：

久留米市の風景など、何点か載せたいと思います。数値を比較した資料やデータについては、資料編で示したいと考えています。

吉永副会長：

国の取組の中での、久留米市の状況が分かるとういことだと思います。

井手委員：

16 ページの表(温室効果ガス排出量の現状と目標)で、現状(最新値)が 2021 年と記載されていますが、現時点では 2021 年の数値が最新ということでしょうか。

皆課長補佐：

温室効果ガス排出量については、県のデータを基に作成しており、この数値が最新のものです。

高橋委員：

先日、宮ノ陣クリーンセンターに初めて行き、リサイクル自転車は抽選になるなど説明を聞きました。タンスなど様々なものが綺麗に手入れされており、驚きました。自分自身、環境の取組を長く続けてきましたが、このことを知りませんでした。ぜひ、もっと広報していただきたい。

津川主幹：

宮ノ陣クリーンセンターでは、毎月第3日曜日のサンデーリサイクルで宝の市というイベントを行って

います。リデュース・リユース・リサイクルのリユースの視点は非常に重要と考えており、この宝の市もその取組の一環です。今後作成する行動計画の目標設定などの参考にさせていただきます。

堤委員：

先ほどのご意見は、コラムにいれたらよいのでは、ということではないでしょうか。

皆課長補佐：

計画は沢山の方に読んでいただけるよう、なるべく簡潔にまとめている、と素案作成時に説明をさせていただきました。PR したいことはたくさんありますが、1 つの目標につき 1 つのコラム、というルールで内容を絞り作成しています。PR 不足という点をご指摘の通りです。対応について、資料編にコラムを多く掲載することを考えています。先程の宝の市など、他にも久留米市独自の取組など、写真つきで載せたいと考えています。本編は簡潔に、資料編で情報を補足・充実させていきたいと考えています。

堤委員：

この原案には、久留米市のことがあまり書かれておらず、他の市町村の環境基本計画、といわれてもわかりません。詳しい内容は資料編にあるかもしれませんが、市民に手に取っていただくためには、久留米市での具体的な取組など、市民が理解できるような内容があった方がよいのではないのでしょうか。資料編を読まない人は、この文章ばかりの計画を読まないのではないかと思います。久留米市での取組など、市民が愛着を持てるような内容を入れていただきたい。

吉永副会長：

26ページに久留米らしい取組と写真が載っています。このような久留米市独自の取組についての掲載に関する意見です。

宝の市などの取組は SNS などで発信をしていただくと、更に活性化すると思いますので、ぜひ参考にさせていただきたい。

稲益委員：

まちづくり振興会で活動しています。久留米市の 100 年先のことを考えた場合、物を大切にし、エネルギーを使わない生活が重要だと思います。しかし、実際には都市部は渋滞が深刻で、多くのガソリンを消費していると感じます。以前は三井郡の方から久留米市を通り、八女、福島あたりまで路面電車が走っていました。電車を復活させ、車が渋滞せず、街中を路面電車が循環するような環境がよいのではないかと思います。文化センターあたりから久留米大学病院あたりまで。高齢社会となり一人暮らしも多く、タクシーを利用しないと病院へ行けない方などもある。低床車両の導入など、ヨーロッパの事例など参考にした取組があるといい。

また、コラム2のように、車に関する支出を減らすなど、節約型の生活を実現できるような社会にな

ってもらいたい。食品油の廃油回収なども進められていますが、家庭の油の回収がまだ不十分であり、その他、節電・節水・食ロスなどを呼びかけ、取組を進めることも大事だと考えます。

また、漫画風にするなど目に留まるような啓発も進めてほしい。

吉永副会長：

交通について、公共交通会議などでも、各バス会社は、運転手不足で、このままでは中心部の路線維持が厳しくなるという意見もあります。路面電車の話は以前から出てはいますが、すぐには難しい状況です。ちゃりちゃりという自転車の取組も始まっており、今、取り組んでいることをもう少し PR してどうか、というご意見です。

皆課長補佐：

交通機関のバランスは重要だと思っています。後半のご意見について、昔は、大きな工場による公害というものだったが、今は私たちの生活が環境を壊すようになり、ライフスタイルやビジネススタイルを見直すことが世界的な動きとなっています。そのことをいかに伝えていか、漫画風というヒントもいただき、興味のない方にも伝わるよう、義務感ではなく、やってみようと思えるような表現方法や、啓発方法を工夫し、力を入れていきたいと考えています。

高橋委員

環境フェアで以前は啓発をしていた。再開してほしい。

皆課長補佐：

環境フェアについて。コロナ前までは百年公園で大規模イベントを開催していましたが、コロナをきっかけに、現在はインターネットを中心に Web 環境フェアを実施しています。インターネットを利用して動画を配信し、環境フェアに参加できなかった方々もアクセスできるようにしています。ただ、対面の重要性も感じており、今後は他のイベントと組み合わせ、皆さんのお力を借りつつ啓発活動を続けていきたい。

高橋委員：

現在は、大刀洗や小郡などに啓発活動の手伝いに行っています。

皆課長補佐：

宮ノ陣には啓発拠点もあり、そのようなところでも対面イベントを開催し、より多くの方に環境について触れてもらう機会を作りたいと考えています。

吉永副会長：

感染症をきっかけに、イベント実施が難しくなったことについては、農政部の会議などでも意見が出

されています。人が集まるのであれば、農業や環境など単独で行うのではなく、幅を広げ、最近、活発になっている若い人が多く集まる音楽イベントとのコラボや、宮ノ陣地区であれば、河川敷でのイルミネーション・音楽イベントなどとのコラボを考えるとよいのではないのでしょうか。今後、対面イベントでも啓発をしていきたい、ということなので、期待したいと思います。事務局から他に何かありますか。

皆課長補佐：

今後の予定ですが、議会での説明後、約1か月間、市民からの意見募集を行います。その意見を取りまとめ、3月の下旬には皆様に結果報告を行う予定です。ご協力をお願いします。

3 閉会

本日予定しておりました議題はすべて終了いたしました。これもちまして、第3回久留米市環境審議会を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。